

テンプスタッフ・テクノロジー株式会社 株式会社 日経BPクリエイティブ

印刷、出版の世界で不足する Adobe® InDesign®のエキスパートを求めて

急速な勢いで普及するAdobe InDesignと
人材の確保と育成に取り組む人材派遣会社の試み



右から、テンプスタッフ・テクノロジー株式会社
CAD・Web・DTP事業部長 藤崎 貴司氏
DTPクリエイターチーム マネージャー 成田 忠史氏
営業企画本部営業企画室 川西 利和氏

大手企業から端を発した印刷業界の技術革新は中小企業にまで広がろうとしている。しかし、InDesignのスキルを持った人材の確保は、DTP業界全体の課題としてたちはだかっている。人材確保におけるひとつの解決策が、人材派遣会社によってもたらされた。



同社初のイベントとなるDTPクリエイターカンファレンスを成功させ、今年度は100名の採用を目指す。と語る営業企画室の川西 利和氏。



Challenge InDesignに参加する受講者たち。DTPに関する業務を経験しているため、受講者の年齢層は30代の人の方が比較的多く、ほとんどの人がDTPに関してのスキルは高い。

今回取材したテンプスタッフ・テクノロジー株式会社は、テンプスタッフの100%出資子会社として設立されたIT系技術者専門の人材派遣会社だ。DTPオペレーターをはじめとして、Web関連技術者やCADオペレーターなど、いま一番の活況をみせる業界への人材派遣を主な業務としている。

ここ数年、IT関連の技術を持つ人材は売り手市場だそうだ。なかでも、印刷、出版業界では技術の進歩に社内の人材育成が追いつかず、どの会社でも人材の確保に苦労している状況だという。

テンプスタッフ・テクノロジーでは、有能な人材の確保を精力的に行う一方で、人材の育成にも力を入れている。そのプロジェクトのひとつが「Challenge InDesign」だ。

いま、印刷や出版業界でどのような人材が不足しているのかを探ることで、InDesignが業界全体へ与えた影響とここ数年におけるソリューションの変化がわかるはずだ。その点をテンプスタッフ・テクノロジーと派遣先である日経BPクリエイティブに話を伺った。

不足するInDesignオペレーター

現在、テンプスタッフ・テクノロジーにはITに関連する多数の人材が登録されているが、その中でもDTPの技術を持った人材はわずか15%ほどだという。

「ひとりでIT関連といっても多岐にわたりますが、テンプスタッフ・テクノロジーでは、ふたつの大きな柱にわけて人材を募集しています。ひとつにはDTPやWeb、CADといったデザイナーやクリエイターに属する人たち。もうひとつは、システムエンジニアやプログラマーなど、IT色の強い職種の人たちです。さらにDTPの分野でも細分化されていまして、今回、私たちが注目したのが、InDesignを使える人材ということになります。」と、CAD・Web・DTP事業部長の藤崎貴司氏は語る。

DTPオペレーターの人材については、増え続ける需要に対して供給が追いついていない状況だという。その背景には、やはり印刷技術の進化におけるソリューションの変化がある。とりわけ、InDesignの急速な普及がオペレーターの確保を困難にしている状況なのだそうだ。

「大手の印刷会社や出版社では、InDesignを柱としたソリューションの刷新を終えた感がありますが、それが中小の企業にも及んできたと実感しています。」

**InDesignを導入したいけれど…という会社はたくさんあるんです。
派遣会社として、その声に応えるべきだと実感しました。**

CAD・Web・DTP 事業部長の藤崎 貴司氏



業界の中でもDTP組版業務に人材不足が顕著だと語るDTPクリエイターチーム マネージャーの成田 忠史氏



DTP業務が未経験でもいいので、スキルアップしたいという意識の高い人にぜひ来てもらいたいと語るCAD・Web・DTP 事業部長の藤崎 貴司氏。

急速に変化するソリューションに対して、中小の企業には、人材を育成する余裕がないのが実状だ。そこに人材派遣のニーズを見出したテンプスタッフ・テクノロジー社では、同社へ登録するDTP技術者を対象としたセミナーを開催し、InDesignのオペレーターを自ら育成することで急増するニーズへ対応する。そこが「Challenge InDesign」プロジェクトの主な目的だった。

受講者の45人は順調に就業中

2007年の9月から3日間の研修期間、毎月8名の定員でChallenge InDesignはスタートした。テンプスタッフ・テクノロジー社へ登録している人はテキスト代の2,000円のみで受講料できるとあって、Challenge InDesignには多数の応募があったそうだ。

「他社製アプリケーションをすでに利用して組版の経験を持っている人を対象として募集したため、応募してきた人のほとんどはスキルアップを目指す現役のオペレーターさんが多かったですね。」と、藤崎氏。

やはりオペレーターの立場からもここ数年間におけるソリューションの変化を身近に感じ取っているのだろう。

いずれにせよ、印刷やデザインに関する予備知識を持っていれば、あとはアプリケーションの具体的なオペレーションを学ぶだけですむ。

セミナーに訪れた人たちの多くは、すでにAdobe PhotoshopやAdobe Illustratorのテクニックを習得していたため、InDesignのオペレーションもスムーズに習得できたという。

これまでに受講してきた人の45名は、すでにいずれかの企業へ派遣されていることから人材に対する需要の高さがわかる。

DTP業界の柱としてのInDesign

テンプスタッフ・テクノロジーでは、今年度の採用目標を100人として、今後もInDesignのオペレーター育成に力を入れていくそうだ。

また、セミナーだけではなく、より多くのクリエイターに向けて情報を発信するためのイベントも企画しているという。その第一弾として5月17日に、青山ベルコモンズにて、「DTPクリエイターズカンファレンス」の開催を予定している。

「現場ではどのようなスキルが求められているのか、DTP業界の主流は何かなど、さまざまな最新情報を発信し、同時に埋もれている人材を発掘することができたらいいと思っています。」と、同社営業企画室の川西利和氏は語ってくれた。

会社データ

テンプスタッフ・テクノロジー株式会社
東京都渋谷区代々木2-1-1
新宿メインスタワー 1F
<http://www.temptech.co.jp/>

株式会社 日経BPクリエイティブ
東京都港区白金1-17-3
NBFプラチナタワー
[http://cre.nikkeibp.co.jp//](http://cre.nikkeibp.co.jp/)

チャレンジ

InDesignセミナーやイベントの開催などで人材の確保と育成に取り組む（テンプスタッフ・テクノロジー）。

ソリューション

InDesign上でレイアウト、出版物のおよそ7割がPDF入稿を実現（日経BPクリエイティブ）。

ベネフィット

InDesignのスキルを持った人材を育成することによって、慢性的な人材不足を解消する。

Tool Kit

・ Adobe® InDesign®



人材派遣会社では、長期でもスポットでも対応してくれるので、急場の人材確保にとっても助かっているという、日経BPクリエイティブ 制作事業本部長の味岡 浩二氏。



日経BPクリエイティブで制作している雑誌の数々。すべての誌面がInDesignでレイアウトされ、およそ7割がPDF入稿だ。



Challenge InDesignを受講したのちに日経BPクリエイティブに派遣された馬場友希さん。

人材確保により、大きな即戦力に

では、これまでにChallenge InDesignを受講した人が、どのような企業に派遣されて活躍しているのか。派遣先のひとつである日経BPクリエイティブに話を伺った。

「日経BPクリエイティブでは、2年ほど前から他社製のアプリケーションからInDesignへシフトすることを決定いたしました。その背景には、カラーマネージメントの環境設定のしやすさと入稿のPDF化をおこなうことで、デジタルデータを多重に活用したい、という思いがあったからです。」と 同社制作事業本部長の味岡浩二氏は語る。

ところが、当時は社内でInDesignを操作できるオペレーターを養成中であり、作業量の増大に伴い派遣の方の手を借りる必要が生じた。そこで、テンプスタッフ・テクノロジー社にはInDesignに強い人材がいるという話を聞き、派遣の方に来てもらうことで急場の人材不足に対応したそう。

その結果、InDesignへのシフトはスムーズに実行され、InDesignの導入が進むとともに、引き続き何名かがテンプスタッフ・テクノロジーから派遣されることとなった。

「同じ派遣会社ということでノウハウの連携ができ、即戦力として働いてもらえるので助かっています。」と味岡氏。

現在、日経BPクリエイティブは、およそ20誌の定期雑誌を制作しているが、その約7割はPDF入稿なのだそう。今後は、InDesignを利用したレイアウトの自動化に取り組んでいくという。

続いて、Challenge InDesignを受講して現在日経BPクリエイティブに派遣されている馬場友希さんにお話を伺った。

「受講当時、Illustratorなどの主要ソフトはある程度使うことができたのですが、InDesignに関しては使ったことがありませんでした。実際に仕事として使うことで学ぶことも多いですが、就業前にChallenge InDesignで基礎的なところを学ぶことができてよかったです。」

派遣会社を通じて働きながら学ぶことで、実践に役立つノウハウを身につけることができ、しかもスクールや独学で勉強するのは違って、働いた経験をキャリアのひとつとして数えることができるのが魅力だという。

人材派遣会社の協力によって、新しい技術がスムーズに浸透した今回の事例は、新技術導入と人材の確保に悩む企業にとって、ひとつの指針といえるだろう。